

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		教育支援館運営				所管	教育委員会 教育支援館			
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	46	計画事業名	スクールソーシャルワーカーの配置			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] あらゆる世代が生涯にわたって成長し輝くまちの実現 [施策] 7 児童・生徒の状況に応じた支援の充実					[事業開始]	昭和30年度		
							[終了予定]	- 年度		
	根拠法令等	条例・規則	〔法令等名〕			東京都台東区生涯学習センター条例、東京都台東区立教育支援館処務規則				
	事業対象	直接の対象 : 区内在住・在学(園)の幼児・児童・生徒及びその保護者並びに区内学校園及び教職員・保育士等 最終的な対象 : 区内在住・在学(園)の幼児・児童・生徒								
	事業目的	教育・保育に関する知識・技能を有する専門職員や民間委託等を活用して教育・保育上の諸課題への対応を図り、幼児・児童・生徒の健全育成に寄与する。								
	事業内容 [H30年度]	<ul style="list-style-type: none"> ・館事業の執行に係る専門職員(研修支援専門員、教育相談員、生活指導相談員及びスクールソーシャルワーカー)の任用 ・学校園に対する日本語指導講師及び保護者面談通訳の派遣 ・館運営に係る事務機器及び用品等の調達 								
委託の有無	一部委託		委託内容		学校園に対する日本語指導講師及び保護者面談通訳の派遣					
補助金の有無	都									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
				目標値	実績	実績	実績	目標値	達成率	
	活動指標	教育相談室の開設日数	日	267	266	267	266	266	100.0%	
		スクールソーシャルワーカー聞き取り件数	件	340	235	264	308	-	-	
	成果指標	来所相談延回数	回	2,700	2,458	2,615	2,683	-	-	
		スクールソーシャルワーカー介入延回数	回	1,500	821	1,008	1,349	-	-	
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度	
					77,819		74,955		77,133	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			69,070		66,803		72,118	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			16,303		16,114		16,109	
その他のコスト(扶助費・補助費など)			918		0		9			
総経費			86,291		82,917		88,236			
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			8,087		7,992		9,687		
	一般財源(区負担額)			78,204		74,925		78,549		
課題及び今後の進め方	子供の環境面における諸問題の解決を目的とするスクールソーシャルワーカーの配置については、平成30年度に増員したことによる事業効果の検証を行い、運営手法等に改善の余地がないか検討する必要がある。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	教育・保育に関する諸課題が多様化・複雑化する中、学校園からの要望・要請は引き続き多い。また、区民が気軽に利用できる機関として、教育支援館に対するニーズは増加している。							
	効率性	3	専門職員や委託事業者が学校園との連絡・調整等を密にすることで、効率的な事業運営を図った。							
	手段の適切性	4	スクールソーシャルワーカーを増員し2名体制とした。これにより、介入回数の増加とともに、より丁寧な対応が可能となった。							
目的達成度	3	スクールソーシャルワーカーが学校園や保護者に広く認知されたこと、また30年度に増員したことなどにより介入回数が増加しており、事業はおおむね良好に進捗している。								
〔総合評価〕 ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
教育・保育に関する諸課題は多様化・複雑化しており、今後も学校園の要望・要請等を丁寧に汲み取りながら対応していく必要がある。また、区民等が気軽に利用できる相談・援助機関として、今後も効果的な取り組みの実施に努める。						維持		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		